

かんもん北九州ファンクラブ



第134号

2019年春号 [季刊]

発行者：藤城 昌三

〒337-0006
さいたま市見沼区島町
433-31

TEL：048-685-5773

会報「春号」発刊に当たって

かんもん北九州ファンクラブ代表 藤城昌三

会報編集を担当の大鬼諫幹事が不慮の怪我の悪化とご家族の看護のために編集委員長を辞任されました。永年のご苦勞に心からの感謝を申し上げ、一日も早い快復を願っております。幸いなことに梅原英毅副代表が編集委員長を引き受けていただきました。編集委員長の交代を機に会報発行回数を役員会で協議し、年四回発行の季刊会報と改定しました。今回(134号)より「2019年春号」の名称とします。季刊発行により記事の鮮度の低下は否めないことですが会員の皆様の「生き甲斐」に少しでも役に立つ記事を掲載し「ファンクラブ」の名にふさわしい楽しい記事をお届けしてゆく方針です。会員の皆様方の投稿やご意見をお待ちしております。

会費納入のお願い

本会は会員の皆様の年会費に支えられております。今後、活動をさらに強化していくためにも、引き続き会員継続と会費納入をお願い申しあげる次第です。

ご多忙中とは存じますが、同封の「払込取扱票」にて次の要領でお振込みいただきますようお願いいたします。
※宛名の箇所に

「平成31年度会費納入お願い」となっておられる方は2,000円

「平成30年度・31年度、2年分会費納入お願い」となっておられる方は4,000円

「平成31年度広告料納入お願い」となっておられる方は10,000円

をお願い申し上げます。

なお、銀行からお振込みの場合には、

ゆうちょ銀行、店名(〇一九店)、店番(019)、当座預金(0728289)

口座名義：かんもん北九州ファンクラブ にお願いたします。

誠に恐れ入りますが、振込にかかる手数料はご負担いただきますようお願いいたします。

第 41 回歴史講演会のご案内

井崎淳一郎

下記要領にて歴史講演会を開催しますので、奮って参加をお願いします。

1 演題：ペリー来航と日米和親条約（1854 年）

近代日本の幕開けとなるペリー来航と日米和親条約について、日本史と世界史の双方から光を当てる。

- (1) 時代背景－東漸する英国、米国西海岸、太平洋の捕鯨船、百万都市江戸
- (2) 幕府の対外政策とペリーの開国要求
- (3) 横浜村の首脳会談－林大学頭 vs ペリー提督の対話。使用言語、通訳
- (4) 日米和親条約の内容とその意義
- (5) ペリーの見た日本

参考文献：拙著『幕末外交と開国』（2012 年 講談社学術文庫）。『ペリー提督日本遠征記 上下』（角川ソフィア文庫）等。

加藤祐三ブログ：<http://katoyuzo.blog.fc2.com/> の関連項目および同リンク「岡倉天心『日本の覚醒』を読む」ほか。

2 講師：加藤祐三氏（三溪園園長、横浜市立大学名誉教授・元学長）

3 日時：平成 31 年 4 月 12 日（金）18：00～20：00

4 場所：九州工大鳳龍クラブ 港区新橋 2-20-15 新橋駅前ビル 1 号館 5 階（03-3572-2009）

5 参加費：2,000 円

6 申し込み：4 月 5 日（金）までに、メール（kankitafc@gmail.com）又は FAX：03-5539-3819 でお願いします

なお、講演会終了後、希望者での懇親会を予定しています。（会費 3,000 円）

申込み時に懇親会の出欠につきましてもご連絡願います。

かんもん北九州ファンクラブの「暑気払い」へ！

広瀬知也・藤城昌三

恒例の暑気払いを今年は原宿「水交会」で開催します。例年、暑気払いは鳳龍クラブにて開催でしたが、新橋駅ビルのオフィス街の一室での開催のため、歌や演奏を自粛していました。今夏は存分に歌などご披露できます。皆さまのご参加をお待ちしております。

日時：8 月 9 日（金）18 時～

場所：（公）水交会 渋谷区神宮前 1 丁目 3-5（東郷神社隣）

会費：5 千円（歓迎！お酒、焼酎、ワインなど持ち込み大歓迎です）

アクセス：JR 山手線「原宿駅」竹下口より徒歩 5 分

東京メトロ（千代田線・副都心線）「明治神宮前駅」5 番出口より徒歩 5 分

準備の都合上、申し込みは 7 月 31 日（水）までです。

申し込み・お問い合わせは

広瀬 知也 e-mail：hinoyama-tengu@ezweb.ne.jp

藤城 昌三 e-mail：s-fuji3@shirt.ocn.ne.jp

TEL / FAX：048 - 685 - 5773

北九州ツアー・交流懇親会の案内

実行委員長 田中 悟

ツアー交流会を今年 10 月 6 日～7 日に北九州で行う予定です。

6 日には世界遺産の宗像大社を参拝し、懇親会は 18 時から井筒屋で開催します。

北橋健治市長のご臨席をお願いしております。

7 日には安川ロボット未来館の見学等を計画しています。

交流懇親会

1. 日時：10 月 6 日（日）18 時～

2. 開場：井筒屋本館 8F レストラン

3. 会費：5,000 円

4. 正式なスケジュールは第 135 号（夏号）にて、ツアー毎の費用とともにお知らせ致します。

新年会挨拶

下関市東京事務所長 島崎敏幸

皆様、あけましておめでとうございます。下関市東京事務所、所長の島崎でございます。かんもん北九州ファンクラブの新年会にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

2018年、平成30年は、明治維新150年の節目に当たり、下関市においては「下関市維新150年事業」をはじめとしたさまざまなイベントを開催するとともに、「いざ挑戦!おもしろき応援事業」により民間団体の方々と個性豊かで柔軟な発想による取り組みを支援するなど、市民の皆様と一緒に「維新発祥の地 下関」を発信することができました。

また、新庁舎整備も無事起工式を終え、来年3月には、市民の皆様にとって利便性が向上し、末永く愛される新庁舎として完成いたします。

あるかば一と開発につきましても、関門海峡の景観を生かした魅力あるホテルの誘致を目指して既に事業者の公募を昨年11月に開始しており、交流人口の拡大や地域経済の活性化に向け着実に前進しているところです。

本年は、「平成」最後の年であるとともに、新しい年号の始まりの年となります。私ども下関市職員は、新たな時代の幕開けとなる本年を迎えるに当たり、引き続き、市民の方をはじめとして、下関から遠く離れ、こうしてふるさと下関に想いを寄せていただいている方々に、新しい下関の創造と希望の風を感じ取っていただけるよう、全力で取り組んでまいります。

結びになりますが、かんもん北九州ファンクラブの一層のご発展と、皆様のますますのご健勝とご活躍を心から祈念いたしまして、年始のご挨拶とさせていただきます。

かんもん北九州ファンクラブ「新年会」あいさつ

北九州市東京事務所長 池永紳也

新年あけましておめでとうございます。

本日は、かんもん北九州ファンクラブの新年会にお招きいただき、誠にありがとうございます。

本日、ファンクラブの会報の新年号(133号)を持ってまいりましたが、私も毎回楽しみにしています。下関と北九州の現状や歴史・文化、また、両市の東京事務所の取り組みなどをご紹介いただき、本当にありがたく思っています。

14ページに掲載の「Kita Qフェス in TOKYO 2018」には、ファンクラブ皆様にも多数ご来場いただくとともに、事前の周知にもご協力いただいたこと、心より感謝申し上げます。

さて、昨年北九州市での出来事を振り返りますと、
①門司で2名の方がお亡くなりになられました西日本豪雨、
②小倉駅前のコレットと黒崎井筒屋の撤退、**③**人口減4年連続全国最多など、残念なニュースがありました。一方で、
①「日本新三大夜景都市」に認定、**②**スペースワールド跡地にイオンアウトレットモール進出、**③**外国人観光客倍増、
④工藤會本部撤去交渉開始、**⑤**若松区民の悲願でありました「若戸大橋・トンネル無料化」など、明るいニュースもた

くさんありました。

また、一昨日の日経新聞の1面に掲載された記事をお配りしておりますが、北九州市が持続可能な都市ランキングで京都市に次いで全国第2位となりました。これは、本市の多くの取り組みが高い評価を得た結果だと思っておりますが、一丁目1番地の課題である人口減には依然として歯止めがかかっておらず、まだまだわが市の努力も道半ばでございますので、皆様には、引き続きこの首都圏からご支援ご協力をお願い申し上げます。

それから、来月27日に、大手町の経団連会館におきまして、「第11回北九州市応援団の集い」を開催いたしますので、是非、数多くの方ご参加をお願い申し上げます。

結びに、かんもん北九州ファンクラブの今後ますますのご発展と、本日ご参集の皆様のご健勝とご多幸を祈念して、私の挨拶とさせていただきます。

新年ご挨拶

株式会社キラヴァンツ北九州 代表取締役社長 玉井行人

新年あけましておめでとうございます。

昨シーズンもキラヴァンツ北九州への変わらぬご支援と、ご声援をいただき、厚く感謝申し上げます。

しかし、クラブはJ2復帰を必達目標に掲げながら、成績低迷が続き、クラブ史上最低のJ3最下位に転落しました。皆様の期待を大きく損なう形となり、極めて申し訳なく、改めてお詫びを申し上げます。こうした深刻な後退局面を打開するために、2019年を起点として、中長期的な観点から、改めてチームの基盤づくりに取り組んでいくことを決めました。一年ごとの計画や、監督が交替する度にチームの戦術、スタイルが変わる状況では、根底からのチーム再生を実現するのは難しいと判断したからです。

牽引役は、小林伸二監督兼スポーツダイレクター(SD)です。過去にJリーグの4クラブをJ1に昇格させた実績を持ち、若手やアカデミーの選手育成にもたけております。小林氏とともに、日本の近代化を担った北九州の人々のひた向きで、たくましい気質、精神風土と響き合う独自のサッカースタイルを確立し、地域に根差した強いチームに変えていきます。一見、遠回りのようですが、しっかりと地に足をつけ、チームを基盤づくりから再構築することは、着実にJ2昇格への道のりと重なり合うと考えています。

今年のスローガンを「CHANGE FOR KITAKYUSHU ~この北九州(まち)のために~」とさせていただきます。2019年をキラヴァンツ北九州再生に向けた改革元年と位置付ける強い決意表明であります。このスローガンに皆様の想いを込めて私たちの背中を押していただきたいと思います。もし、皆様の目にクラブが改革をためらい、停滞していると映りましたら、遠慮されずに喝を入れていただきたいと思います。

5年後、10年後に振り返った時、2019年がキラヴァンツ北九州再生にとっての転換点だったと確信できるよう、私たちが力を尽くしますので、引き続き、皆様のご支援とご声援を賜りますよう、よろしく願いいたします。

2019 年新年会ご報告

レポーター 井崎淳一郎

新年明けて 1 月 12 日(土)、墨田区吾妻橋のアサヒビールの本社ビルに隣接するフラムドール(スーパードライホール 2 階) に新旧会員と会員候補の皆さんが集いました。受付で全員が参加賞：本日の式次第とドイツ製スキングア商品(一林宏齊さん提供) 入り小袋を頂きました。



井崎淳一郎(筆者)



藤城昌三代表



池永紳也・北九州市東京事務所長

司会進行は井崎淳一郎(筆者) で、午後 0 時 30 分に開会を宣言し当日のスケジュールを説明した後、まず、藤城昌三代表のご挨拶、次いで島崎敏幸・下関市東京事務所長と池永紳也・北九州市東京事務所長から挨拶を頂きました。藤城代表からは会員各位による両市への更なる支援の依頼を、島崎所長からは市政に関する情報を、池永所長からは昨年 10 月 20 日～ 21 日に開催された「KitaQ フェス in TOKYO 2018」(於アーツ千代田 3331) が大変好評であったこと、台風災害についての報告がありました。

この報告の後、当会の会員でもある国民民主党広報局長で九州比例区選出の城井 崇^{きいたかし} 衆議院議員から届いたお祝いの電報を紹介しました。

乾杯は若手を代表して、中野区区議会議員である稲垣淳子さんにアサヒビールで乾杯の音頭を取って頂きました。ここで丁度午後 0 時 45 分、以降 30 分間の懇談・飲食タイムに入りました。コース料理がテーブルに運ばれて来ますので、飲み物はセルフサービスでお好きな物を頂きます。一服した後は、出席者全員による新年の挨拶、自己紹介等々何でも良しの 1 分間スピーチに移りました。

徳久徳博さんの紹介で初めて参加された江藤志富(日本舞踊の教授名は榎若^{うめわかしづあや} 俊文) さんが、皆さんの前で入会を表明され、世話人一同喜んでおります。

その後はお待たせのジャンケン大会(抽選会) です。1 回勝てば商品を得ることができる計算です。ジャンケン大会は今回初めての試みでした。



榎若俊文さん



稲垣淳子さん

下関市東京事務所、北九州市東京事務所、瞬報社写真印刷株式会社（会報の印刷と発送を委託）のカレンダー計 11 本と有志提供の日本酒、ワイン、焼酎、梅酒、柚子ペッパー等 11 の商品を、景品としてお持ち帰りして頂きました。

宴会の中締めは國武和生さん（在京大分県人会理事等ご活躍中）、池永所長のスピーチに応じて北九州市の人口動向を説明された上で締め括って頂きました。盛会の内に午後 2 時 50 分に終宴となりました。なお、受付を担当された細田廸代さんには、昨年に続いて大変お世話になりました。

多士済々の参加者の中に、コンサート、舞踊や個展を開かれる方がおられます。当会のホームページや会員間のメール網を利用して、イベントの案内に活用されることをお勧めします。

2 月 27 日（水）午後 4 時 30 分～8 時の間、経団連会館カンファレンス 2 階に於いて第 11 回北九州市応援団の集いが開催されます（参加費 8,000 円）。応援に駆け付けましょう。

参加者は次の 36 名の方々でした。（敬称略）

※印は初参加または久しぶりに参加された方々、☆印は景品を持参提供された方々です。

阿部一久 有田秀明 池永紳也(☆) 井崎淳一郎(☆) 一林宏齊(☆) 稲垣淳子 岩井浩 上釜真一 内田青虹(☆) 梅原英毅(☆) 江藤志富(※) 木村淳資 國武和生 篠原政美 島崎敏幸 清家みえ子 田中悟 田中光也(☆) 時枝ルミ子(※) 徳久徳博(☆) 中武純子 中野栄二(☆) 西山忠壬 萩原文子 橋本知佐子(※) 濱田謙二 林良雄 広瀬知也 藤城昌三(☆) 藤田康子 細田廸代 本多忠夫 山口克夫 山口義夫 山口喜代子 山崎美知(※)



細田廸代さん



内田青虹さん



梅原英毅さん



山口克夫さん



中武純子さん

感想文

上釜真一

久しぶりに新年会に出席して普段のイベントでも顔を合わすことがない会員さんと懇談することができたのと、ビールを片手になかなか味わえない料理に舌づつみできました。会場の雰囲気がとても落ち着いていて、リラックスした気分で参加することができました。

新年会の 2 時間半があつという間に感じられました。会場が歌えない会場だったこともあって歌手さんが出席できなかったのは残念でしたが、景品争奪じゃんけんや自己スピーチなどで会を盛り上げてくれた幹事さんには頭がさがります。長野県からだどファンクラブのイベントにはなかなか参加できませんが、来年も新年会があればまた参加したいと思います。来年以降の新年会の会場は歌える会場の確保と歌手さんたちとの交流の場を設けてほ

しいのと、会費は5,000円前後で会員さんたちの負担にならないようにしてほしいと思います。また、高齢の方だけでなく、若い世代や働き盛りの世代の方が気軽に参加できるように是非検討してみてください。

最後に盛大な新年会にできて光栄です。会員たちが創意工夫して、その年にしかできないような新年会を楽しみにしています。

かんもん・北九州ファンクラブ新年会に参加して

國武和生

楽しい時間の経つのは早いものです。素晴らしい会でアツという間の3時間でした。

1分間スピーチの中で「細川ガラシャ」の末裔さんや「本多忠勝」の末裔さんのお話には聞き入りました。織豊期というより天正から慶長年間の歴史を覗いた思いもしましたし、歴史上の家系が続いていることとその場でお話が聞けたということに只々驚きました。

総じて感じたことは参加人員の多寡ではなく参加した方々の本会への思いと郷土愛のシャワーがアサヒビールとともに体に滲みしました。充実した本会の会員向け新聞とその場の雰囲気といいますかエネルギーが同一のものと感じられました。私も本会には在籍2年で新年会を含め3回の参加でございます。「一年の計は……」という諺をよく耳にしますが正に「……かんもん・北九州ファンクラブにあり」でした。大変勉強になる年頭の集いで会長様はじめ運営幹事様の御苦労が伝わってきますとともにエネルギーを頂きましたことに感謝申し上げます。

東京でのこうした活動や思いが1,200^{km}離れた郷里へ伝わり、相互交流がもっともっと深く、強く、広くなればと思います。



國武和生さん



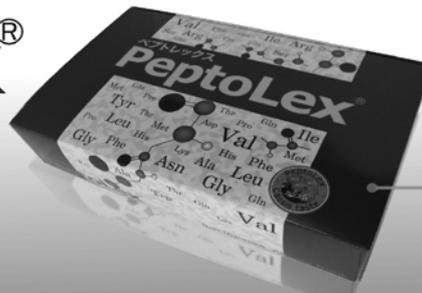
集合写真

協賛広告

ペプトレックス PeptoLex®

■ Advantage ■

- ・アスリートに必要な成分が豊富
- ・体の中から美しくなりたい方に最適
- ・体の衰えが気になる方にピッタリ
- ・世界ドーピングテスト合格・自衛隊で採用



- ・天然ペプチドだからすぐに吸収
- ・中性脂肪を燃やし、スリムな体づくり
- ・水に良く溶け美味しい

今なら、会員価格
1箱 ￥3,300
2箱以上 送料無料



アイエフシー株式会社
お求めは

〒211-0034 川崎市中原区井田中ノ町8-8-105
アイエフシー株式会社「ライフサイエンス部」まで

URL : <http://www.ifcc.co.jp> E-mail : umecadia@ifcc.co.jp
または Amazonで「ペプトレックス」と検索しお求め下さい

◇行橋市の現状と活性化への取り組み◇

講師 行橋市東京事務所長 森雅代 担当 中野栄二

行橋市は、1954年(昭和29年)10月、1町8村が対等合併し誕生した。福岡県東部に位置し、北九州市から南南東25km、大分県中津市から北西25kmの場所にある。行橋駅は、JR日豊本線と平成筑豊鉄道の相互乗り入れ駅であり、北九州空港や荇田港にも近接、2014年(平成26年)3月東九州自動車道・行橋IC、同12月今川スマートICが開通し北九州・大分・筑豊・福岡地域を相互に結ぶ交通の結節機能を担っている。市制当初の人口は4万人程であったが、2005年(平成17年)の国勢調査で人口が7万人を突破した。近年の人口推移を見るとわずかながら増加を続けている。

農業は稲作、果樹栽培、水産業は豊前一粒ガキ、ワタリガニ、鱧の水揚げが盛んであり、いちじくは県内1位の生産量を誇る。近年、多様な特産物の産出と特産品の開発に努めている。市内産業は電機・電子部品の製造業に加え、近隣地域への大手自動車メーカーの進出により、自動車産業が盛んである。

子育て支援を積極的に行っており、2017年(平成29年)12月より、無料子育て支援アプリ『すくすく』の提供や、行橋市子育て情報ポータルサイト“すくすくゆくはし”も開設。(https://sukusuku-yukuhashi.mchh.jp/) その他妊娠・出産・子育て期にわたる切れ目のない支援を実施している。

観光については、海岸線での「まて貝」の潮干狩りや、黒田官兵衛の居城馬ヶ岳城跡、国指定史跡である御所ヶ谷神籠石、後藤又兵衛所持と伝えられる「槍」などが伝わる守田蓑洲旧居などがある。また、大賞賞金1,000万円の彫刻展を開催しており、複合文化施設コスメイト行橋に設置されている作品は触ることが可能である。ゆくはしビエンナーレHP (http://yukuhashi-biennale.jp/) より受賞作品を見ることが出来る。行橋市増田美術館には河合玉堂、菱田春草、上村松園、北大路魯山人、横山大観などの近代日本画や陶磁器が多く所蔵されている。現在、海岸地域の活性化とスポーツ振興の普及を図っており、ゆくはしビーチバレーボールフェスタやゆくはしシーサイドハーフマラソンなどの多くのビーチスポーツが行われている。

駅東側活性化対策としては、賑わいと活気を取り戻すため図書館等複合施設の建設も着工され、2020年完成予定である。また、行橋市今川PA交流拠点基本構想を作成し、高速道路利用者や市民の交流拠点整備事業を現在進めている。

連携事業としては「京築連帯アメニティ都市圏構想」を福岡県と京築地域の行橋市、豊前市、荇田町、みやこ町、吉富町、上毛町、築上町の7市町で取り組んでおり、地域内外での食の魅力PR、体験観光ツアーの実施、「京築かるた」の制作や神楽公演など様々な事業に取り組んでおり、京築地域情報発信サイト“京築まるごとナビ”(https://keichiku.info/) で情報発信を行っている。

また、活力ある経済社会を維持する拠点を形成するため連携中枢都市圏「北九州都市圏域」を平成28年4月、北九州市と直方市、行橋市、豊前市、中間市、宮若市、芦屋町、水巻町、岡垣町、遠賀町、小竹町、鞍手町、香春町、荇田町、みやこ町、上毛町、築上町の17市町で形成。様々な事業を推進しているところである。「北の九州」という表現を用い、対外的なプロモーションなどで活用しており、北の九州のお土産というHP (https://kitanokyushu.jp/) で圏域の情報やイベント等の発信、17市町それぞれの特徴・魅力を紹介している。Yahoo エールマーケットでは且過市場の紹介とともに一部北の九州特産品のネットショッピングも可能となっている。(https://yellmarket.yahoo.co.jp/specialist/fukuoka/kitanokyushu/guide01/)

まだまだ発展を続けている行橋市にぜひ一度訪れて、まちの魅力に触れてください。



行橋市東京事務所長
森雅代殿



北九州市東京事務所
副所長 正野睦朗殿



中野栄二さん



講演会を受講する皆さん

◇高校物語◇「戸畑高校物語」 2

会員 (18 回生) 藤吉隆憲

(その前に 1 の続き)

只、文部省の告示(開校許可)が、開校年度の昭和 11 年 3 月 25 日と遅れて、諸々の準備が整わずと言うこともあり、行政区が隣接する小倉中学の全面支援を請ける形でのスタートであった。入学試験に関しては新しい組織の校長職員の手で行うのが望ましいに違いなかったが(当時は各中学毎に入学試験問題を作成していた)、

- 一、小倉中学校の入学考査問題を其の儘戸畑中学校の考査問題に適用すること、
- 一、答案の採点は小倉中学校入学考査委員に一任すること、との処置がなされた。

然も初代校長が小倉中学の教頭を経て八幡高等女学校長をされていた稲岡鴻先生(昭和 11 年 3 月就任、昭和 20 年 8 月退任)であり、教頭は小倉中学校より山手文彦先生が来られたこともあり、戸畑中学は小倉中学校の分校だとも言われたようである。その様な関係もあり学校の目標として小倉中学校を見習い・追いつけと言うことで精神面から徹底的に教育されたとのことである。

この小倉中学校の分校……云々は、戦後の学制改革後の戸畑高校になっても引き摺っていた様で、その当時のエピソードを校史の中より以下に抜粋してみる。

「一 小倉高校との対校試合について 一」

昭和 20 年代中頃以後の学校行事で、特にユニーク且つ有意義であったのは小倉高校(当時は小倉北高と言っていた)との対抗競技会である。

この発案者である当時の校長・赤沢要雄先生(昭和 20 年 8 月就任、昭和 30 年 5 月退任)の回想によると、「どうも戸畑の生徒には、小倉高校の分校あるいは弟分である気分がある。それは確かに学校創立時にはいろいろと恩義を受けているが、分校ではないのだから、何とかこの気分を抜きたい。対等な関係での親善試合をやって貰えないか」と、小倉高校の河合校長に頼んだところ、「あ、いいですよ。やらせて下さい。戸畑が良くなることは小倉が悪くなることではないのだから……。」と、快く引き受けて下さったという。

早速、昭和 24 年 9 月に戸畑高校を会場として各種目の対抗試合をしたところ、戸畑が優勝した。生徒達は、「おやっ、スポーツやったら俺たちの方が強いやないか。こらどうしたことやろか。」という顔をしていたという。翌年も優勝して、大いに意気が上がったが、3 年目には雪辱された。しかし、この自信と上昇ムードは、以降の戸畑高校の文武両面における大きな支えになったことは言うまでもない。

折しも昭和 26 年には「若戸地区高等学校競技大会」(戸畑、戸畑中央、北筑(現戸畑工業)、若松の 4 校)が始まったが、ここでも戸畑高校は優勝している。

特記しておくべきことは、小倉高校の一般生徒の秩序ある行動と、統制のとれた応援である。スタンドに整列して帽子を振り、校歌を歌う千人近い集団に乱れがなく、彼等が立ち去った後には汚れがなかったことは、戸畑高校生にとって大きな感動であった。こうして戸畑高校に対して有形無形の好影響を与えて、非常に意義あるものであったこの行事は、昭和 30 年に第 7 回目が予定されながら実施されず。この事情は次の会話が物語っている。

河合校長「小倉は、戸畑と親善はいいけど、毎年負けて、一寸、こう具合が悪い……。」

赤沢校長「ああ、それはいかん。ではやめましょう。また何か考えますから……。」

「戸畑高校物語」 1 了

協賛
広告

菓子業 湖月堂



本店 〒802-0006 北九州市小倉北区魚町 1-3-1 1
TEL 093-521-0753
本社 〒802-8691 福岡県北九州市小倉北区赤坂海岸 3 番 2 号
TEL 093-541-0961
フリーダイヤル 0120-47-0961
Fax 093-541-3756

栗饅頭の湖月堂
菓子業一筋、松本清張にも愛されて今日に至っています。日露戦争勝利を愛でた勝ち栗からの命名された由緒ある「栗饅頭」を御茶受けに、ご進物にご利用下さい。
HPアドレス <http://www.kogetsudo.com>

(戸畑高校物語 2 始まり)

第 2 章 校章・校旗の制定について

地名の「トバタ」の名は、奈良時代に成立した「筑前風土記」に「鳥旗」として初めて用いられ、その後「万葉集」に「ほととぎす飛幡の浦に敷く浪のしばしば君を見むよしもかも」という歌中にも「飛幡」として登場する。そのようなことから、旧制中学では「鷺」を、新制高校は「鷹」をモチーフにしている。

誕生した戸畑中学校の校章の意匠は小倉中学校・杉田宇内教諭（夫人は、ほととぎす派の俳人・杉田久女）に依頼、昭和 11 年 4 月 3 日に帽子の意匠と共に決定した。

「放射光線を有する日章旗の前に両翼を張りたる鷺ありて、頭部は星章をなす。中央に中の字を表わせり。星章は理想を意味し、鷺の羽は之を目指して躍進雄飛を示す。日章は明朗、鷺の脚は堅実を表徴する。鳥と旗にて戸畑市の旧名、鳥旗を表わして戸畑中学校を表現せり」とある。

昭和 11 年 6 月 11 日、校旗制定式は、「前より福岡の佐藤商店に注文してあった校旗が 6 月 6 日に完成、学校に届けられた。青空を思わせる碧瑠璃の地に、銀閃眩しき星章を望んで羽ばたく大鷺の翅が、金燦爛と輝き、手段巻塗りの旗竿と校章を三面に浮き彫りにした竿頭、戸畑中学の精神を表徴した校章である」と。

当時一年生だった蘇村健二氏（のち本校物理教諭）の作文があるので再録して見る。「コバルト色に晴れ渡った大空は、朝の白雲を点々と抱いている。……中略…… 清々しい初夏の朝、此の朝こそ我等戸畑中学生にとって忘れることの出来ない思い出深い校旗制定式が挙行されたのである、校旗入場式が済んで、真新しい朝会台上に我等が入学して以来二ヵ月にわたって成就せられた名誉ある、そして意義深き校旗が、歓喜に満ちた大小の胸を揺り動かしている。……中略…… 嗚呼、この我等の校旗を見た、誰として発奮に燃えない者であろうか、僕も思わず手を握りしめた。戸中の前途は実にたのもしく感ぜられる。我等は此の校旗を仰ぎ、校則を守って、真に生きた校風を造り上げなければならぬ。僕は強い熱と熱烈なる意志を抱き、社会に出て校旗に対しても恥ぢないように大いに努力し、活動する覚悟である。」当時の生徒の皆同じくした感慨であろう。

戦後の学制改革に沿って、昭和 23 年 4 月、全国の旧制中学校・旧制女学校は一斉に三年制の新制高等学校に移行することになった。その新制「福岡県立戸畑高等学校」の校章は、希望に満ちて大空を雄飛してゆく若鷹にあやかっ。銀色の鷹の羽に金色に輝く『高』の字が描かれている。これは若鷹の羽ばたく姿に、戸畑高校一千有余の若人の、未来への飛躍を象徴したものである。校章が制定されたのは、昭和 23 年である。学制改革により、高等学校となる時に在校生より募集し、その中から選ばれたもので、若人の身中に鬱勃と湧き上がる情熱が、この中に込められていると。

戸畑高校の校章は、「世界で一番美しいエンブレム」と、同期の女子が言った。この様な「鳥の羽(翼)」をモチーフにした校章は多く見受けられるが、どれもこれも今一つの感で、本校の様に、美しく・凛々しく、羽(翼)を広げた格調あるデザインに勝るものは見たことが無い。世界一は兎も角、私も「中々、格好いい、素晴らしいデザインだ」と思っている。(以下次号)



協賛
広告

切手・ハガキ等をご寄付ください

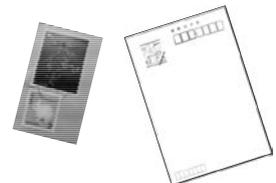
特活 NGO アフリカ友の会の代表 徳永瑞子

ご寄付いただいたものは、内戦下にいるアフリカの栄養失調児、重症児、エイズ患者等への医療協力に使います。

集めているもの

- ・未使用切手・ハガキ
- ・未使用カード(図書カード、クオカード他)
- ・使用済み切手(切手はギリギリに切り取らずに、周囲 5～10mm ほど残してください)
- ・書き損じハガキ

送り先 〒115-0053 東京都北区赤羽台 4-17-18-1102 特活 NGO アフリカ友の会
TEL: 03-3909-7114 FAX: 03-3908-0200



❖❖ お礼 ❖❖ 山宮礼子様より 書き損じハガキ 26 枚 使用済み切手 250g を お送りいただきました。
「かんもん北九州ファンクラブ」会員の方からのご支援に 心から感謝申し上げます。

第 32 回史蹟散策会：東芝未来科学館と東海道かわさき宿交流館で発見しよう

井崎淳一郎

2月16日(土)午後1時にJR川崎駅西口に集合し、歩いて1分の東芝未来科学館を午後3時15分まで、その後は駅東側に位置する東海道かわさき宿交流館を午後3時30分から4時45分まで見学しました。前者では、近代から未来の科学技術までを見て、触れて、体験し、後者では、東海道川崎宿の歴史と文化を学びました。

JR川崎駅に下車したのは、2010年11月(第19回史蹟散策会)の東京電力・電気史料館(注1)の見学以来ですが、駅西口周辺は変貌著しい。東芝堀川工場の跡地にLAZONA(ショッピングセンター)ができて、東芝未来科学館は隣のスマートコミュニティーセンター2階に位置しています。

フロアに9つのコーナーがあり、印象深かったのは、1番目の創業者の部屋【からくり人形、万年自鳴鐘、田中久重(注2)・藤岡市助・東京芝浦電気を設立した山口喜三郎の3名の創業者ゆかりの品々を展示】と2番目の【1号機ものがたり】のコーナーでした。

田中久重が久留米出身であることや、佐賀藩での反射炉の設計や大砲の製造に関わったことを初めて知りました。1号機とは国産初というもので、自熱電球、電気冷蔵庫、電気洗濯機、電気掃除機、カラーテレビ等々。当時の東芝の技術力に驚きました。加えて、日本語ワードプロセッサ JW-10 と RUPO が展示されています。JW-10 の発売が昭和 53 年(1978) 9 月、それから 3 年後に勤務先の職場で最初に導入しましたので、よく覚えています。リース契約とはいえ、今では考えられないほど高価な事務機でした。

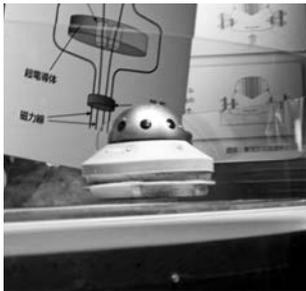
電動機(モーター)も直流機から交流機(二相、三相、誘導)まで。フランス水車の実物を初めて見ました。

サイエンスショーでは、静電気を体感していたこと。体験室の子供達の髪の毛が吊り上がりました。日立シビックセンター科学館員による空気の浮力を風船、ボール等を使ってのデモンストレーションには感心しました。

東海道かわさき宿交流館は旧東海道筋に位置しています。1階は大型映像「六さんの川崎宿今昔物語」(東海道五十三次、川崎宿や明治以降の発展を映像で解説)と茶屋【万年屋】(注3)を模して造ったお休み処。2階は江戸時代にタイムスリップ~ものがたりBOX(六郷の渡し、万年屋で繰り広げられた物語を映像で紹介)と川崎宿の解説。3階は江戸時代から現代へ~川崎分解劇場(川崎を色々な角度から紹介)、東海道川崎宿ゆかりの人物、川崎発掘・いまむかしを紹介しています。

2階の映像装置と情報装置はよくできています。また、川崎宿だけでなく、東海道の他の宿場についての簡単な紹介があるのはありがたい。3階の【川崎発掘・いまむかし】のコーナーで坂本九と岡本太郎が川崎市の出身であることを知りました。JR川崎駅のホームで「上を向いて歩こう」のメロディーが流れた時、何故なんだろうと疑問に思いましたが、なるほど、訳ありでした。1階の飛脚の六助さん(エノケン似)は操り人形ですが、2階のコーナーでは、バグジー大サイズのアニメキャラクターで随所に現れています。

両館共に入場無料で、何度でも出入りができますので、開館日を確認された上で、是非見学させていただきます。



超電導によるリニアカー実験



万年自鳴鐘



空気の揚力実験



からくり人形：茶運び人形のデモンストレーション

参加者は次の13名の方々でした。(敬称略)

足立二雄 有田秀明 井崎淳一郎 板持節子 上釜真一 梅原英毅 木村昭子 田中悟 中野栄二 永松弘光
能浦栄蔵 広瀬知也 藤城昌三

注1：2011年3月11日の東北地方太平洋沖地震に伴う福島第一原子力発電所事故(東日本大震災)による東京電力の広報活動自粛に伴い、同年3月14日以後、一時休館中(再開未定)のため一般の来場は団体や学校の社会見学での利用も含め不可となっている。

注2：田中久重(たなか ひさしげ：1799.10.16-1881.11.7)は、江戸時代後期から明治にかけての発明家。「東洋のエジソン」、「からくり儀右衛門」と呼ばれた。芝浦製作所(後の東芝の重電部門)の創業者。福岡県久留米市の龜甲細工師・田中弥右衛門の長男として生まれた。後年、肥前国佐賀藩の精煉方に着任し、国産では日本初の蒸気機関車及び蒸気船の模型を製造する。また、軍事面では反射炉の設計(改築)と大砲製造に大きく貢献した。「万年自鳴鐘」の原品は国立科学博物館に寄託され、平成19年(2007年)には機械遺産(22号)に認定された。

注3：江戸時代、東海道川崎宿にあった掛茶屋。旅人のほかに、厄年の男女が川崎大師参詣の途中に多数立ち寄ったので、特に繁昌した。当時は説明を要しないほど知名度の高い旅館兼茶屋であった。奈良茶飯が名物。歌「お江戸日本橋」にも「六郷(ろくごう)わたれば 川崎の万年屋」とうたわれた。

第 32 回史蹟散策会：東芝未来科学館と東海道かわさき宿交流館で発見しよう。に参加して

有田 秀明

(今回は東芝未来科学館の見学についての感想を記述した)

久しぶりに JR 川崎駅を利用した。

先ず昔のイメージから一新し、駅のコンコースは人の波で、西口方面の東芝の堀川工場跡地に開設された商業施設「ラゾーナ」へ人流れが出来ていたことである。

今回訪問した東芝未来科学館はそのラゾーナの一角に 5 年前にリニューアルオープンしたものである。

到着して驚いたことにこの様な施設はあまり人影が見られないのが一般的であるが、お子様連れの家族や団体での見学者の多さにびっくりした。

お子様でもモノの原理が製品への応用が分かりやすく展示され、随所にインストラクターによる実演も工夫されており興味を持つことが出来た。

特に興味を持ったのは東芝創立者の田中久重のからくり人形である。

インストラクターによる「茶運び人形」のからくりの仕組みを着物を着せた一体、着物を脱がせ内部の構造が分かる一体、それに肝心の茶を運びターンしバックする仕組みはカム構造を採用しているのだが、そのカム機構をクローズアップした部分模型と合計 3 体によるメカニズムの説明と人形の操作の実演は、なぜこの様な動きが出来るのか理解する上で、大変分かりやすく興味を持つことが出来た。

それにしても江戸末期から明治の初期にかけて今日でも機械のメカニズムとして応用されているこの様なハイテク技術が応用されていたのは驚嘆に値する。

未来技術についての感想を述べよう。

地球環境保全技術への取り組み等も関心があったが、超電導コーナーに足が向いた。

超電導技術のコーナーでは実演により超電導現象によりマグネットの反発を利用して物体を浮かすデモンストレーションが行われていた。

現在建設中の JR 東海のリアモーターカーはその応用技術の代表的な例である。

小生は学生時代に、当時の国鉄鉄道研究所でこの研究の基礎研究にタッチしていたことがあり、50 数年以上の時間の経過でようやくここまで来たかと思うと感無量である。

この技術の普及には、さらなる超電導物質の高性能化によるランニングコストの低減化と超電導物質の製造技術の確立がカギと思われる。

数年前に経営上で騒ぎを起こしているが、東芝製品は家庭内を探せばこの家庭でも数個は見つかるメーカーであり、発電機等社会基盤を支える製品を多く製作している会社でもある。今後も頑張ってほしい。

川崎駅は小生が都内に行き来する途中での駅であり、この施設は駅からも近い場所であり今後も時々覗いて観る気になった。



かわさき宿交流館にて

感想文

上釜 真一

最初に訪問した東芝未来科学館は東芝の創業から現在までの歩みと東芝の技術力を生かしたテクノロジーと未来の街とエネルギーを想定した技術を紹介するコーナーから成っており、東芝が長年培った技術が川崎の東芝未来科学館に結集していると言ってもいいでしょう。館内に入って感じたことは子供たちが無邪気にゲーム感覚で様々な体験コーナーで楽しそうにしているのをみて、子供目線でスタッフさんが丁寧に案内しているんだなと感心しました。入場無料も魅力の一つであるが昨今の経営状態を考えると大人 200 円、子供 100 円ととてもいいような気がしました。またミュージアムショップは子供むけの模型などはあるが理系や高専の学生向けの商品がないのは残念です。

次に訪問した東海道かわさき宿交流館は江戸時代に川崎宿が栄えた背景が資料として残しているだけでなく、近代化し工業都市として発展した川崎市の歴史も併せて述べられているので川崎をより知ることができました。機会があればまた行きたいと思います。

◇ 11 月講演会の報告 ◇ 演題：下関市の市政レポート

講師 下関市東京事務所 所長 島崎敏幸 担当 梅原英毅

(前号 P5 からの続き)

3. 下関港の最新トピックスについて

激動する日本はもちろん、世界の経済社会情勢を踏まえ、現在、下関港では、あらゆる観点で、新しい動きがあります。

この動きについて、「下関港の特長」と「サプライチェーンの強靱化」という観点から説明いたします。

下関港の特徴ですが、大きく 2 点あります。

ひとつは、下関港独自の、高速輸送サービスの展開、もうひとつは、沖合人工島、長州出島です。この長州出島は、成熟国家となった日本における、数少ないグリーンフィールドとして、日々、注目が高まっています。

では、なぜ下関港が独自の高速輸送サービスを提供できるのでしょうか。

まず、就航している国際定期航路が、フェリーと RORO 船によるものが中心であるということがあげられます。

これらの船は、車両で直接貨物の積み卸しをすることから、コンテナ船や在来貨物船に比べて、荷役のスピードを格段に速くすることができます。現在、韓国の釜山、馬山、中国の蘇州、石島との間を、定期航路で結んでいます。

この定期航路のうち、釜山と蘇州については、2 つの港湾の間でのピストン輸送体系であることも、その高速性を高めています。

また、コンテナ航路では、複数の港湾をラウンドするのが一般的ですが、ピストン輸送だと時間の変動要因が少ないことから、定時性も高くなっています。なお、下関港のフェリーの就航率は、99% 以上となっております。

また、フェリーや RORO 船は、コンテナに入らない長尺の貨物から、活魚車のようなものまで、あらゆる形式、荷姿の貨物を運ぶことができます。比較的、輸送中に貨物が損傷するリスクも低いことから、荷役時の衝撃を嫌う精密機械のような貨物の輸送も得意としております。

2 点目は、CIQ の審査のスピードが、日本一速いことがあげられます。これは、長年にわたって、税関や検疫当局などと良好な関係を築いてきたからこそ実現できているサービスであり、通関、植物検疫については年中無休で、動物検査、食品検査についても、週 6 日対応しています。市内に豊富にあるくん蒸施設も、そのスピードを下支えしています。

下関港で午前中に荷揚げした貨物は、その日のうちに発送可能です。「下関港なら即日通関、即日発送」をモットーとしております。

例えば、釜山から夜に輸出された野菜であれば、翌日中には下関で荷揚げし、所要の検査を終え、トラックで発送、3 日目には東京や大阪に届けることができます。

鮮度が求められる貨物にとっては、非常に魅力のあるサービスとなっており、なすやパプリカなど、下関港経由が全国シェアの大半を占める貨物が、数多くあります。

また、道路や鉄道、内航航路など、あらゆる輸送モードが近接しており、国内のいずれの場所ともアクセスが良いということもあげられます。

高速道路のインターチェンジまで 15 分。JR 貨物駅なら 5 分。また、国内フェリーの拠点である新門司まで 45 分、空港へも 1 時間以内でアクセスできます。関釜フェリーや蘇州下関フェリーの発着する本港地区と、JR 貨物下関駅は、文字通り、目と鼻の先にあります。こうした特徴を有する下関港を利用していただくことにより、海上輸送でありながら、航空輸送に匹敵するスピーディーな国際物流を実現することができます。

まさに、「海よりも速く、空よりも安く」であり、東アジアと日本を結ぶ高速物流の拠点、それが下関港であります。

そのため、下関港を経由する輸出貨物の仕出地、輸入貨物の仕向地は、ほぼ全国に広がっています。地方都市の港湾での取扱貨物は、同じ県内で発着するものしかないという港湾も見られる中、際立って広い背後圏を有しているといえます。

また、下関港は高速物流だけではなく、付加価値の高い貨物も集まっています。近隣の北九州や博多に比べ、単価が 3 倍から 5 倍にもなる貨物を取扱っています。急ぐ貨物、また、荷痛みを避けたい貨物が集まっていることの結果であると考えております。

続いて、特徴の二つ目。長州出島についてご説明いたします。

物流ゾーンと産業用地ゾーンからなる、約 22 ヘクタールの産業振興用地について、来年から順次企業誘致を進めるべく用地造成を進めています。おかげさまで、台風等による手戻りもなく、工事は順調です。

全国を見渡しても、国際物流ターミナルに隣接して、これほどのまとまった開発用地がある港湾は、なかなか無いのではないかと考えております。

長州出島の優位点は、なんといっても、最短ルートで東アジアと直結する位置にあることです。



というのも、元々の下関港の中心は、関門海峡に面した地区で、その激しい潮流により、日本でも有数の海上交通の難所ですが、長州出島であれば、海峡の影響を避けることができ、定時性の向上やコストの縮減といった国際物流のメリットを受けることができます。

長州出島、国際物流ターミナルの施設の概要ですが、水深 12m、延長 410m の岸壁があり、ガントリークレーンや CFS、くん蒸施設、リーファー電源など、一般的なコンテナ物流機能を完備しています。

長州出島の最近の新しい動きとして、大型クルーズ客船の寄港が激増していることがあげられます。ここ数年で、東アジアのクルーズ市場が急激に拡大し、その流れに乗って、多くのクルーズ客船に寄港していただいているところです。2017 年は、全国 12 位となる、57 回の寄港がありました。

今年は、回数は減っていますが、国土交通省による岸壁延伸工事が完了したおかげで、世界最大級のクルーズ客船にも利用していただけるようになったため、17 万トン級のクルーズ客船に、11 回も寄港いただいています。

一方、国土交通省では、クルーズによるインバウンドの増加に対応するため、官民連携による国際クルーズ拠点港湾の形成が進められています。これまで、2 回の募集を通じて、7 港が指定されており、現在、3 回目の募集が行われています。

下関港としても、船社と連携して、より効率的にクルーズによる来訪者の受入体制を強化し、市経済の発展につなげるため、是非とも、クルーズ拠点港に応募したいと考えております。

あわせて、長州出島に、クルーズ客船の専用バースも必要ではないかと考えています。現在は、国際物流ターミナルにクルーズ客船が寄港しており、日々の貨物の取り扱いに、いくらかの影響を及ぼしながら、なんとか対応している状態であるためです。このように、物流と人流、双方の効率性と安全性の確保に向け、現在検討を進めております。

次に、下関港の特徴や現況を踏まえ、下関市が事業者の方々のビジネスをどのようにお手伝いすることができるかについて説明します。キーワードは、「サプライチェーンの強靱化」です。

日本は、世界の中でも、自然災害の発生が多い国ではありますが、最近では、特に被害に見舞われることが多いと感じます。今年に入ってからだけでも、西日本豪雨、台風 21 号、北海道胆振東部地震などがありました。

それにより、鉄道、道路、空港、港湾と、あらゆるサプライチェーン上の重要施設が、何らかの被害に見舞われているところ です。

これからも、南海トラフの巨大地震など、何が起こっても不思議ではない状況です。それでも、利用者、事業者の方々には、日本経済を支える事業者として、発展してもらわなければなりません。

そのための手段のひとつが、サプライチェーンの被災リスクを軽減すること、強靱化することではないかと考えております。例として、東京と上海との間で、国際物流を行いながらビジネスを展開している場合を考えます。輸送ルートとしては、東京港と上海を結ぶコンテナ航路が、また、高付加価値の急ぐ貨物であれば、成田や羽田からの空輸が一般的です。

しかしながら、どの輸送経路でも、自然災害によりルートが断絶するリスクがあります。全く新規に、代替輸送経路を探すというのはなかなか難しいものです。そのときの備えとして、下関港ルートの利用を事業者にご提案しております。

下関港は高速物流を強みとしています。また、比較的、自然災害に見舞われることが少ない土地です。下関港は、常時はもちろん、非常時のサプライチェーンの強靱化を通じ、事業者の方々のビジネスのお手伝いをするのが可能であると考えています。

また、各種の支援制度もあります。船社に対する入港料や岸壁使用料の減免や、コンテナ貨物の輸送量が増加した荷主に対する利用促進補助、また、鉄道貨物利用に対する補助も用意しています。

特に、長州出島についてはより大きな支援をしておりますし、そのほか、下関市への企業立地に対しても、各種の補助制度をご用意しています。

下関港は、事業者の方々のビジネスの発展に貢献するため、官民一体となって、より良い「みなと」とするための取組を進めていきます。

また、現在、検討を進めている関門海峡沿いのウォーターフロント開発など、ビジネスのみならず、余暇を過ごす場所としても、利用者の皆様の期待に応えることができる下関港にしていきたいと考えています。

協賛
広告

創立大正3年 老舗の味



<http://www.unijin.com>

元祖 株式会社
うに基本舗

〒750-0001

山口県下関市幸町6-8

☎ 0120-22-0169



◇投稿◇ 初体験!! 119 番に電話しました

西南女学院 細田迪代

それは友人からの一本の電話で始まった。かんもん北九州ファンクラブの新年会の受付を一緒に担当することになっていた友人から「今、病院に居るのだけど朝起きたら目がすごい充血で、医師に安静にしていなさいと言われたので今日は行かれない」とのこと。

それでは少し早めに行こうと家を出て、バス停で待っていると何処からか「イターイ、イターイー」と声が聴こえ、見渡すと道路の向こう側に高齢の女性が横座りの格好で足をさすっていた。急いで道を渡り、理由を聞くと転んで足が痛くて立てないと言う。手を添えて立たせようとする「イターイ」と悲鳴をあげるのので手に負えないと判断し、救急車を呼ぶことのできる携帯電話を取りだし恐る恐る 119 を押した。

直ぐに「ハイ、119 番です。火事ですか救急車ですか」との返事。「怪我です」「この電話の本人ですか」「いえ、私は通りすがりの者で、けが人は年配の女性です」「直ぐに救急車を手配しますが貴女はそばに付いていられますか」「ハイ、誰も居ないので付き添っています」

バス停の場所と私の名前と電話番号、怪我人の名前を教えると指示だが怪我の女性は気が動転してか氏名も住所も言えないでいた。

待つこと 20 分位で隊員から「今、浜田山を通過中で直ぐに到着します」と電話で一報が入ったがなかなかサイレンの音が聞こえてこない。暫くしてやっとかすかにサイレンが聞こえ、ホッとしました。

救急車が到着すると「お名前は、お歳は、お住まいは」と矢継ぎ早の問いかけにも「判らない、判らない」と要領を得ないので、私が老婦人の手提げ袋を指して「中に身元が判明するものが入っていると思います」と伝えた。

隊員二人で「ストレッチャーに乗せます。少し痛いでしょうが我慢してくださいネ」と優しく手際よく運び込んでいた。この後は付き添うことも無いので「よろしく願います」と挨拶してバス停へ戻った。

バスを待つ間に藤城代表に電話で遅刻する旨を報告した。会場には開会 5 分前に到着したが受付は中野副代表が代行されていて、感謝感激です。

新年会は美味しい料理、豊富なお酒と楽しいスピーチで会話も弾み、ジャンケン大会では狙い目の八幡の銘酒「天心」を見事にゲットし満足だった。二次会にお誘いいただき、「銀河鉄道 999 のメーテル」こと橋本知左子さんや日舞の師匠・榎若倭文さん達綺麗どころとご一緒できて、「終わり良ければ全て良し」の波乱の一日だった。友人の目も二三日の安静で大丈夫とのこと、これも一安心だった。



協賛
広告

学校法人
専修学校

北九州予備校

北予備東京 東京都中央区日本橋小網町 18-3
03-6206-2511

理事長 金澤 孝児
(戸畑高校 28 回生)

当校の生徒が平成年最後に目標大学に
全員合格することを祈念し、一層の学習に
励むようにスタッフ一同も臨んでおります。

北九州市ホームページ・トップページをリニューアルしました

広報室

北九州市は、2019年2月11日より公式ホームページのトップページをリニューアルしました！

本市の魅力が伝わり、親しみと愛着を感じていただけるよう、漫画のキャラクターを使用したデザインにリニューアル！快適にホームページを使っていただくため、情報を整理し、分かりやすく見やすいレイアウトに変更しました。

新しい北九州市ホームページを、ぜひご覧ください。

【デザイン】

本市ゆかりの漫画家 松本零士氏のキャラクターを使った2021年3月までの期間限定デザインです。日中韓3カ国において実施される、文化庁の2020年「東アジア文化都市」の国内都市に選定されたことを受け、本市の魅力の一つであるポップカルチャー、「漫画の街 北九州」をアピールしています。

現在発行している「市勢概要2018」と統一感を出したデザインで、最新情報をホームページで提供する「クロスメディア効果」も狙っています。

【レイアウト】

情報をエリアごとにまとめて、分かりやすく見やすい配置にしました。

欲しい情報を探しやすいように、検索窓を2か所に設置。特に、ヘッダーのサイト内検索ボタンでは、検索に集中しやすいモーダル形式（元の画面が覆われる形で全面表示へ切り替わる）を新しく取り入れ、利便性を高めました。

利用環境に合わせた画面表示を行い、スムーズに情報をお伝えするため、スマートフォン向けレイアウトも見直しました。

【ホームページをより使いやすく！】

より使いやすく、分かりやすいホームページを目指して、今後もリニューアルを続けていきます。

- ・音声読み上げ機能があります
ページの内容を読み上げる機能をつけています。「本文を読み上げる」ボタンを押すだけで簡単に使えます。お試しください！

- ・更新日を表示します
情報の鮮度が伝わるよう、各ページに更新日を表示します。(2019年3月中に対応)

- ・暗号化通信に対応します
安心してアクセスしていただけるよう、全ページを暗号化通信(常時SSL化)とします。(2019年3月下旬)

◎トップページ URL <http://www.city.kitakyushu.lg.jp>



旬な情報をお伝えしています！

サイト内検索の窓を「ヘッダー」と「情報を探す」エリアの2か所に設置。注目のキーワードが表示され、情報を探しやすいようにしました。



情報を整理し、利用される方の目線に合わせてレイアウトに見直しました。



様々な場所にアニメを使用！メーテルなどのキャラクターが大集合！

2018年 入会者紹介 (2018年 1/1 ~ 12/31)

國武和生、木村昭子、池田浩之、力武崇樹、千代田光勝、森崎泰子、横山敬子、鬼塚信子、川上祥登、大石幹和、柿原利彦、西村剛、橋本知左子、栗原正人、大河原宏樹、松本豊(敬称略)



目次

P1	藤城代表挨拶 会費納入のお願い	P10	第 32 回史蹟散策会 記録：井崎淳一郎
P2	第 41 回歴史講演会のご案内 暑気払いのご案内 北九州ツアー・交流懇親会のご案内	P11	同 感想：有田秀明
P3	新年挨拶 島崎敏幸 下関市東京事務所長 池永紳也 北九州市東京事務所長 玉井行人 株式会社ギラヴァンツ北九州 代表取締役社長	P12	11月講演会の報告 下関市の市政レポート 記録：梅原英毅
P4	2019 年新年会ご報告 記録：井崎淳一郎	P14	投稿 細田迪代
P5	同 感想：上釜真一	P15	北九州市広報室 HP リニューアル
P6	同 感想：國武和生	P16	2018 年入会者紹介
P7	行橋市の現状と活性化への取り組み 記録：中野栄二	協賛広告 (ア～オ順)	
P8	戸畑高校物語 2 藤吉隆憲		アイエフシー株式会社 P 6
			うに基本舗 P13
			北九州予備校 P14
			株式会社ギラヴァンツ北九州 P16
			湖月堂 P 8
			特活 NGO アフリカ友の会 P 9

協賛
広告



Giravanz
KITAKYUSHU

一進

ギラヴァンツ北九州
代表取締役社長

玉井 行人

子どもに夢と感動を! 街に誇りと活力を!
~ to the next stage ~

本年度の諸情報の詳細については、
ギラヴァンツ北九州HPをご参照下さい。
<http://www.giravanz.jp/>

〒802-0001 北九州市小倉北区浅野 3 - 1 - 2 6
あべりあ浅野ビル